

## 第11回 新小岩公園オレンジボール大会運営要項

### 1 運営主管

葛飾区少年野球 新小岩球友会(以下「球友会」という。)

### 2 後援

読売新聞社

### 3 大会本部

大会会場に大会本部を設置する。本部長は球友会会長、事務局長は実行委員長とし、実行役員も加え運営に必要な事項を決定する。

球友会会長：後藤 育夫

実行委員長：奥田 重直

同 役員：富川 浩二、相原 進

### 4 参加資格

・大会に参加できるチームは、小学3年生以下9名以上の編成で予め大会本部に登録されたチーム。ただし、外野手での出場に限り小学4年生女子選手の登録を認める。

・試合当日に指定された試合の審判に対応できるチーム。

・指定された日時の試合に対応できるチーム。学校行事・各連盟の公式戦および行事による試合日時変更は認めるが、以下の事由での日程変更は一切認めない。

－ チーム行事

－ 各連盟支部レベルの公式戦および行事

－ 各連盟と無関係のローカル大会

・大会本部に登録した全員がスポーツ安全保険に加入しているチーム。

・開会式に参加出来るチーム。ただし学校行事による不参加は認める。

**今大会は開会式を中止とする。**

### 5 実施方法

#### ①実施日

2020年1月30日(土)、31日(日)、2月6日(土)、7日(日)、11日(木)、13日(土)、14日(日)、20日(土) 予備日 21日(日)、23日(火)、27日(土)、28日(日)

1日1試合を原則とするが、雨天などにより1日2試合になる事がある。

#### ②場所

葛飾区立新小岩公園(西新小岩1-1-4)

JR総武線 新小岩駅下車

※アップ場所の準備はありません。公園内の広場は使用出来ません。

#### ③試合方式

トーナメント方式

大会とは別に敗退チーム同士の敗者復活トーナメントを予定。敗者復活トーナメントはグラウンドの都合により中止となる場合がある。詳細は別紙「大会日程表」を参照。

#### ④試合回数

一試合5イニングとする。ただし、70分(準決勝・三位決定戦・決勝および敗者復活トーナメント決勝は90分)を経過したときには、新しいイニングに入らない。同点の場合は、無死満塁・継続打順による特別延長戦を最大2イニングまで行う。さらに決着がつかない場合は、抽選により勝敗を決定する。

#### ⑤試合成立

試合は、3イニング終了時、または、70分(準決勝・三位決定戦・決勝および敗者復活トーナメント決勝は90分)経過時で成立とする。また、日没/降雨時の試合成立は3イニング終了時とし、試合不成立の際は再試合とする。ただし、試合が成立し同点の際は抽選により勝敗を決定する。

⑥不戦敗

試合開始時刻を10分経過しても会場に入れなかったとき、または8人以下のときは不戦敗とする。

⑦ボール

使用球は、大会本部が用意したケンコーボール「D号」（オレンジボール）とする。ホームランボールは自チームにて用意した新球と交換とする。

⑧距離

本投間：14.0m、塁間：21.0m

⑨審判

別紙「大会日程表」にて指定された他チームの試合において、球審と二塁審判を組み合わせ番号の若いチーム、一塁および三塁審判を一方のチームが担当することを基本とする。

なお、帯同審判は可能な限り審判経験者とし、審判に相応しい服装で望むこととする。

三位決定戦・決勝戦・敗者復活トーナメント決勝戦及び別紙「大会日程表」にて指定された試合の審判は球友会審判部で担当する。

6 大会規則

葛飾区少年軟式野球連盟のオレンジボールの規則を適用する。ただし、大会申し合わせ事項は、これに優先する。

7 大会申し合わせ事項

①ルールに関すること

- ・ベンチは組み合わせ番号の若いチームを一塁側とする。
- ・先攻後攻は主審立会いの下、主将同士のジャンケンにより決定する。
- ・ベンチには、登録された選手(人数制限なし)のほか、監督、コーチ、マネージャーは5名まで入ることができ、マネージャーは自チームの帽子を着用すること。
- ・攻撃が、1イニングに10得点をした時点でアウトカウントにかかわらず攻守交代とする。
- ・選手以外は、試合中コーチャーボックスに立つことはできない。
- ・試合中にファールグラウンドでアップする際は、選手同士とする。
- ・特別ルール(グラウンドルール)の説明は、試合前審判が行う。
- ・試合中、審判員が下した判定に異議を申し立てすることはできない。監督は、審判員が判定に当たって適用した規則等の条項及び解釈について疑義があるときは、審判又は当該審判員にその説明を求めることができる。
- ・試合中の選手に対する言葉使い等には応援席を含め、チーム責任者が指導すること、暴言等の行為が認められた時は即刻審判員が注意すること。
- ・直前の攻撃で捕手が打者や走者であり3アウト時に防具を装着していない際は、捕手に代わり三塁手が投球練習を行うこと。この際に、捕手はベンチ前で防具を装着すること。
- ・投手の球数制限は1日70球までとし、超えた時点の打者の終了をもって強制的に交代となる。併せて申告敬遠も採用する。

## ②運営に関すること

- ・ 新型コロナウイルスの感染拡大対策として以下の事項を遵守すること。
  - 応援団含めチーム関係者全員、新小岩公園内ではマスクを着用すること。  
ただし、プレイ中の選手はこの限りでない
  - 応援団含めグラウンドを訪れたチーム関係者の名簿を毎日作成し、大会終了後1ヶ月保管すること。(書式はHPよりダウンロード可)
  - 発熱者、感染者、濃厚接触者がチーム内で発生した際は速やかに大会実行委員長に報告すること。選手・指導者・選手の家家族に感染者・濃厚接触者が発生した際は大会を棄権とする。その他の場合も、球友会会長・大会実行委員で協議し棄権や試合日時変更などの要請があった際は、それに従うこと。

・ 本大会に出場するチームおよび選手は、別に定める様式により大会本部に登録しなければならない。

(追加登録及び変更は、各チーム初戦の試合開始までに本部に届けなければならない。その際は新しい登録書を三部用意すること。)

・ チームは時間の余裕を持って会場に入り、監督は大会本部に試合開始時刻30分前までにメンバー表を3枚提出すること。メンバー表は本部で登録名簿と照合を行い、照合印の捺印を持って正式な提出とみなす。メンバー表記の際、4年生女子選手は背番号を○で囲むこと。

- ・ 監督は試合後に大会本部にて、試合記録の確認、次の試合の日時確認を必ず行うこと。
- ・ 駐車及び駐輪は別途指定された場所に従うこと。  
別紙「駐車/駐輪場の案内」参照。

## ③用具、装備に関すること

・ 服装(ユニフォーム)は揃えることを基本とするが、新規登録選手等揃えることが難しい場合は、監督が試合前に大会本部に届け出て確認を得ること。ただし、背番号は装着すること。

・ 打者、走者、ランナーズコーチ及び捕手のヘルメットまた、捕手のプロテクター、レガースは着用すること。

## 8 表彰

- ・ 優勝チーム 賞状、優勝旗、カップ、金メダル(20個)
- ・ 準優勝チーム 賞状、銀メダル(20個)
- ・ 三位チーム 賞状、銅メダル(20個)
- ・ 四位チーム 賞状
- ・ 敗者復活トーナメント 優勝チーム 賞状、銅メダル(20個)
- ・ 敗者復活トーナメント準優勝チーム 賞状

## 9 開会式及び閉会式

- ・ 開会式

新型コロナウイルスの感染拡大対策として本年に限り中止とする。

- ・ 表彰式

決勝戦終了後に大会本部前で準決勝進出4チームならびに敗者復活トーナメント決勝進出2チームにより表彰式を行う。

## 10 その他

本要項に定めのない事項は、大会本部の指示によるものとする。